

利用の手引

生徒 **i-Campus**

自宅でも

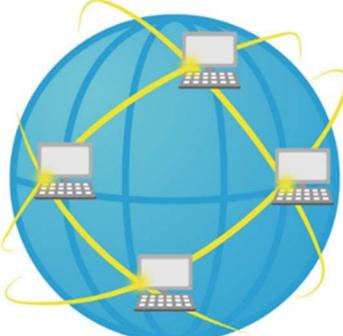


学校でも



- ・ログイン
- ・教材閲覧
- ・小テスト受験
- ・フォーラム投稿
- ・Wiki書き込み

- ・教材の閲覧
- ・課題の提出
- ・テストの実施
- ・コミュニケーション



いつでも、どこでも、かんたんに学習できるシステムの利用法

目次

1	はじめに	2
1.1	ログイン	2
1.2	コースの表示	3
1.3	ログアウト	3
2	学習の進め方	4
2.1	アナウンスメントの確認	4
2.2	教材コンテンツの閲覧	5
2.3	小テストの受験	5
2.4	学習状況の確認	6
2.5	フォーラムに投稿	6
2.6	Wiki に書き込む	7
2.7	学習到達度の確認	7

使用要件

- ・インターネット接続環境が必要です。
- ・スマートフォン、タブレット、パソコン等から、ブラウザを使って利用することができます。
- ・ログインするには、事前にユーザ登録が必要です。

i-Campus 生徒向けスタートガイド

1 はじめに

i-Campus は一人一人の学習を支援する目的で運用される学習管理システム(LMS) です。スマートフォン、タブレット、パソコン等を使い、時間や場所の制限を受けずに、いつでも、どこでも、学習することができます。i-Campus を利用するためには、ログインIDとパスワードでログインする必要があります。

i-Campus には、教材コンテンツの閲覧、小テストの受験、フォーラム(ディスカッション)、Wiki(共同ホワイトボード)などの機能があります。これらの機能を使い、基礎的・基本的な知識の定着を目指し、小テストを受験したり、授業時間外の学習でコミュニケーションを行うためにフォーラムに投稿したり、Wikiに書き込んだりすることができます。

1.1 ログイン

ここでは、i-Campus へのログイン方法について説明します。

① ログインIDカード

i-Campus へは「ログインIDカード」からアクセスすると便利です。

i キャンパスLMSサイト ログインIDカード	
生徒番号:	氏名:
所属学科	
ログインID	
初期パスワード	

i キャンパスLMSサイトURL
<https://icam.nyanta.jp/>

パスワードの取り扱いについて
パスワードを盗み取り際には、以下のような点に注意すること。
●盗み取り防止のためパスワードを定期的に変更すること。
●パスワードを他人に目撃される場所で見せない。
●パスワードを定期的に変更する。パスワードのタイプは、英数字と記号に限定し、8文字以上とする。
●パスワードを入力する際には、明瞭から書き込まれていないことを確認する。
●パスワードを本人のみのみで、適切なセキュリティを確保する。
●パスワードは暗号化されたシステムに格納されます。
●パスワードを盗み取り、暗号を破ることは困難になっていますが、LMSが利用できなくなります。適切なセキュリティを確保してください。

QRコード



② URL を直接入力する (方法 1)

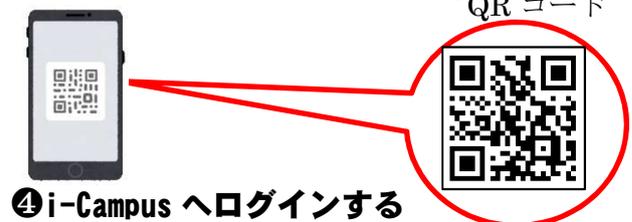
<https://icam.nyanta.jp/>

アドレスバーに、上記の URL を入力し、Enter キーを押します。



③ QRコードを読み取る (方法 2)

ログインIDカードに記載されているQRコードを読み取り、アクセスします。



④ i-Campus へログインする

i-Campus のトップページ左上のユーザ名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



⑤ ログイン成功

ログインに成功すると、画面右上に自分の名前が表示されます。

1.2 コースの表示

ここでは、自分がユーザ登録されているコースを表示する方法を説明します。

コースを表示する

自分がユーザ登録されているコースを表示する場合は、①「マイコース」ブロック、もしくは②「ナビゲーション」ブロックの「マイコース」から表示することができます。



「マイコース」ブロック、もしくは「ナビゲーション」ブロックの「マイコース」に表示されるコース名をクリックします。コースが表示されます。



1.3 ログアウト

ここでは、i-Campus からログアウトする方法を説明します。

i-Campus の利用を終了する際は、必ずログアウトしてください。

i-Campus からログアウトする

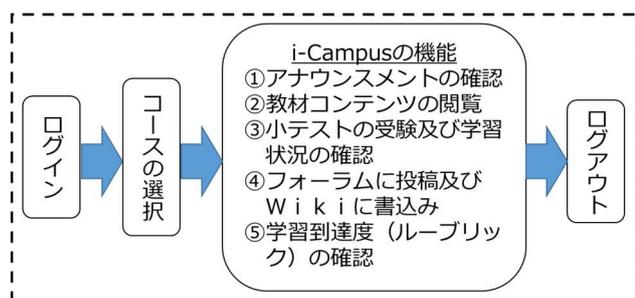
画面右上の「ログアウト」をクリックします。ログアウトに成功すると、画面右上に「あなたはログインしていません」と表示されます。



2 学習の進め方

ここでは、i-Campus を使った学習の進め方について説明します。

i-Campus を使った学習の流れ



- ① コースのアナウンスメントを表示し、必ず連絡事項を確認します。
- ② コースの教材コンテンツを閲覧し、学習内容を確認しながら学習を進めます。

③ 学習内容の定着を確認するため、小テストを受験します。70%以上の正答になれば、次の学習内容へ進みます。自分が取り組んだ教材コンテンツの閲覧や小テストの履歴などの、学習状況の確認などもすることができます。

④ 学習内容が分からない場合にはフォーラムに質問事項を投稿することができます。教師あるいは他の生徒の回答を確認します。Wiki では、学習した内容をまとめ記録します。振り返り学習や調べ学習の参考資料として、皆で共有します。

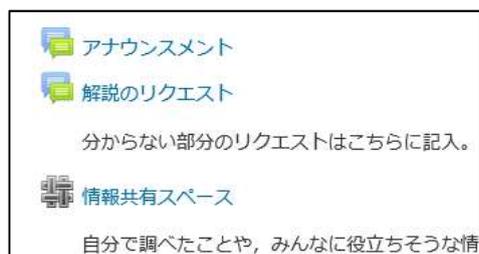
⑤ コースの評価項目ごとの目標にどれだけ到達できたか、確認することができます。

2.1 アナウンスメントの確認

ここでは、担当教師から通知される連絡事項の確認方法を説明します。

アナウンスメントを確認する

コースのトピックから、アナウンスメントをクリックします。コース内の連絡事項が表示されます。



2.2 教材コンテンツの閲覧

ここでは、担当教師から配付される教材コンテンツ(html ファイル・Word ファイル・Excel ファイル・PDF ファイルなど)の閲覧方法を説明します。

教材コンテンツを閲覧する

コースのトピックから、閲覧したい教材コンテンツをクリックします。ここでは html ページを選びます。教材コンテンツが表示されます。



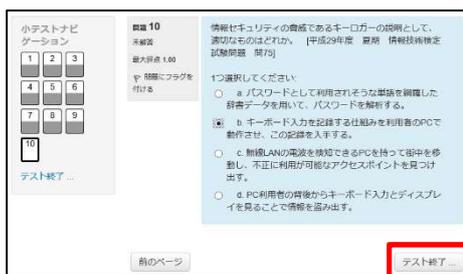
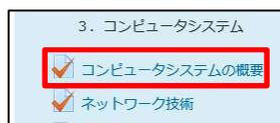
2.3 小テストの受験

ここでは、小テストの受験方法について説明します。小テストの問題の種類には、作文問題・組み合わせ問題・穴埋め問題・複数選択問題・単一解答問題・○×問題などがあります。

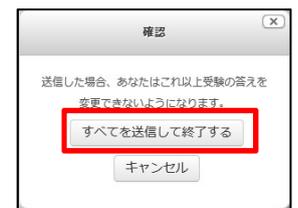
小テストを受験する

コースから、受験したい小テスト名をクリックします。「問題を受験する」をクリックします。

テスト画面が表示されます。問題を解いてください。問題を解き終わったら、画面右下の「テスト終了」をクリックします。



受験の要約画面が表示されたら、すべての問題が「解答保存済み」になっていることを確認します。「すべて送信して終了する」をクリックします。確認ウィンドウが表示されたら、「すべてを送信して終了する」をクリックします。



正誤と解答が表示されるので確認します。画面左下の「レビューを終了する」をクリックして終了します。※問題によっては表示されないものもあります。



2.4 学習状況の確認

教材コンテンツを学習したか否か、小テストを受験したか否かなど、学習状況を確認することができます。

学習状況を確認する

コースの「管理」ブロックから「評価」をクリックします。学習状況が表示されるので、内容を確認します。

評価項目	計測済み回数	評価	範囲	パーセンテージ	フィードバック
リンパルコース1					
コンピュータシステムの概要	-	-	0-10	-	
ネットワーク技術	-	-	0-10	-	
データベース技術	-	-	0-10	-	
コンピュータシステム開発	-	-	0-10	-	
コンピュータシステムの概要	-	-	0-100	-	
コース合計	-	-	0-60	-	

2.5 フォーラムに投稿

電子掲示板に当たるものを、i-Campusではフォーラムと呼びます。ここでは、フォーラムへの投稿方法を説明します。

新しいディスカッションを作成する

フォーラムをクリック選択します。

アナウンスメント
解説のリクエスト
分からない部分のリクエストはこちらに記入。

「新しいディスカッショントピックを追加する」をクリックします。

解説のリクエスト
分からない部分のリクエストはこちらに記入。
新しいディスカッショントピックを追加する
ディスカッション
ディスカッション開始
最新
リクエスト ユーザ管理 1
用2についての質問 生徒 ユーザ1 0

「件名」・「メッセージ」を入力し、「フォーラムに投稿する」をクリックします。

CCDFプラットフォームのファイルは参照できません。
ピン留め
編集権限時間なしでフォーラムに投稿
見直し
表示期間
タグ
フォーラムに投稿する キャンセル

既存のディスカッションに投稿する場合には、投稿内容を確認し「返信」をクリックします。

リクエスト
2019年 01月 10日(木曜日) 13:48 - ユーザ管理 の投稿
わからない項目を書く
パーマリンク | 編集 | 削除 | **返信**

「件名」・「メッセージ」を入力し、「変更を保存する」をクリックします。学習を振り返るために、必要に応じてキーワードとなる検索用「タグ」を追加することもできます。

あなたの返信
件名 *
Re: リクエスト
メッセージ *
返信します。
タグ
選択なし
タグを入力してください ... 標準タグを管理する
変更を保存する キャンセル

2.6 Wiki に書き込む

Wiki はだれでも自由に書き込むことができる Web ページのことです。共同で使うホワイトボードのように、みんなで少しずつ書き込んで活動の記録に使います。ここでは、Wiki へ書き込む方法を説明します。

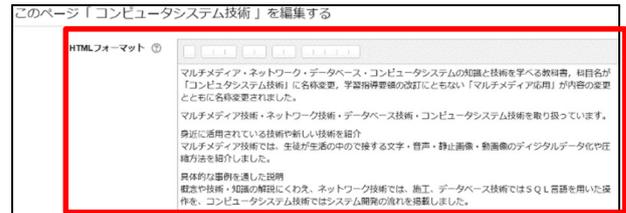
Wiki を編集する

Wiki をクリック選択します。最初にこれまで書き込まれた情報が表示されます。



「編集」をクリックします。「ページを編集」を行い、あとから検索するために、必要に応じてキーワードとなる検索用「タグ」を追加し、

「保存」をクリックします。「プレビュー」をクリックし、書込みを確認することもできます。



2.7 学習到達度の確認

学習到達度を確認する方法を説明します。

学習項目ごとの到達度レベルを確認する

コースのトピックから、評価の項目を選択しクリックします。ここでは評価項目をレベルごとに表示したルーブリックが表示されます。

コンピュータシステムの概要		6. 評価			
提出ステータス	未提出	コンピュータシステムの概要			
評価ステータス	未評価				
終了日時	2019年 02月 28日(水曜日) 00:00				
残り時間	15日 8時間				
評価クオリティ	基本的なハードウェアとソフトウェアの知識を身につけることができます。				
コンピュータシステムとはどのようなものか理解している	具体例を用いて考えを述べることができる	説明ができる	図が描ける	単語が書える	よくわからない
コンピュータシステムを構築するために必要な基本的知識を備えている	調査し解決できる	説明ができる	図を描ける	言葉の意味がわかる	よくわからない
コンピュータシステムの構造について基礎的な知識を備えている	具体例を用いて説明することができる	説明ができる	図が描ける	単語が書える	よくわからない

学習項目ごとの到達度レベルを表示する

教師による評価が終わると、学習項目ごとの学習到達度が示され、コメントと共に表示されます。

フィードバック	
評点	75.00 / 100.00
評定日時	2019年 02月 13日(水曜日) 04:47
評定者	教員 ユーザ 1
フィードバックコメント	このページを評価しました。

評点	基本的なハードウェアとソフトウェアの知識を身につけることができます。	コンピュータシステムとはどのようなものか理解している	コンピュータシステムを構築するために必要な基本的知識を備えている	コンピュータシステムの構造について基礎的な知識を備えている
4点	具体例を用いて考えを述べることができる	調査し解決できる	具体例を用いて説明することができる	具体例を用いて説明することができる
3点	説明ができる	説明ができる	説明ができる	説明ができる
2点	図が描ける	図を描ける	図が描ける	図が描ける
1点	単語が書える	言葉の意味がわかる	単語が書える	単語が書える
0点	よくわからない	よくわからない	よくわからない	よくわからない

「利用の手引」冊子版

令和2年5月6日 新訂版発行

著者 志賀栄文

発行 茨城県立高萩清松高等学校

〒318-0001 茨城県高萩市赤浜 1864 番地

電話 0293(23)4121

FAX 0293(22)2915